

**お客様用保存版
取扱説明書****電気錠(リモコンキー)仕様**

このたびは、弊社の商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を正しく安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は、いつでもお読みいただけるよう大切に
保管してください。

目 次

1.各部の名称	2・3	7.操作方法	11・12
2.リロック機能について	4	8.マグネット・ラッチ受けの調整	13
3.ご使用上の注意事項	4	9.お手入れについて	13
4.リモコンキーの登録/抹消方法	5・6・7・8	10.不具合対応について	14
5.リモコンキーの電池交換方法	9	11.商品仕様	15
6.キーキャップの取付方法	10		

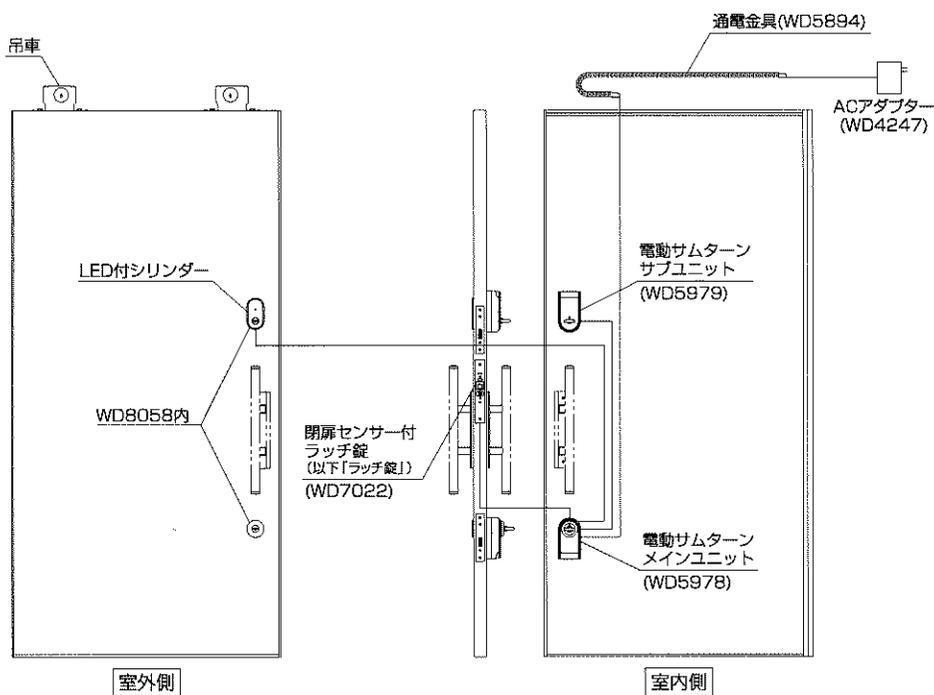
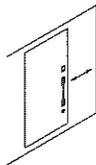
販売店・工事店様へ

この説明書は、施工後、お客様へ必ずお渡しください。

本書には、電気錠 (リモコンキー) 仕様の固有な事項のみを記載しています。
電気錠 (リモコンキー) 仕様以外の事項については、別冊の取扱説明書をご確認ください。

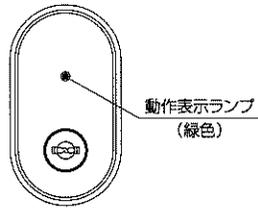
1. 各部の名称

引き戸 (スライディング)

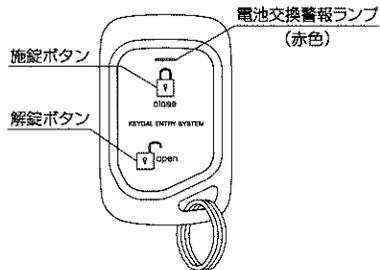


※本図は右勝手を示します。

■ LED付シリンダー

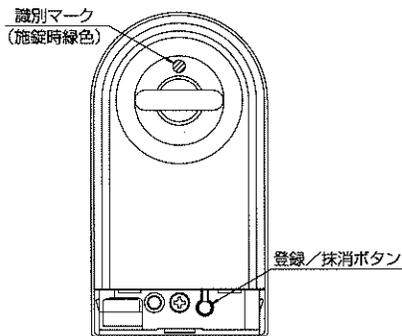


■ リモコンキー

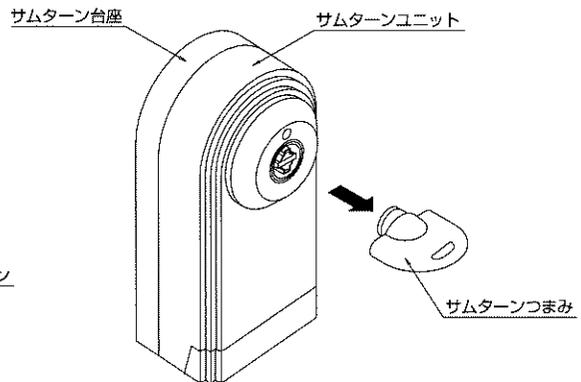


■ 電動サムターンメインユニット (防犯サムターン)

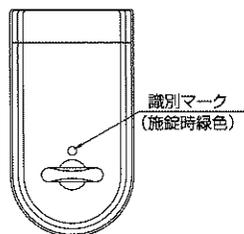
【カバーを外した図】



【サムターンつまみを外した図】



■ 電動サムターンサブユニット



2. リロック機能について

本電気錠仕様にはリモコンキーや手動で解錠後、扉を開けないと約20秒後に自動的に再施錠するリロック機能が付加されております。解錠後、約20秒以内に扉を開けるとリロック機能は、解除され作動しません。

この機能は、外出時に施錠後誤ってリモコンキーの解錠スイッチが入って解錠してしまった時に気付かず、無施錠になってしまうことを防ぐ目的で付加されている機能です。

3. ご使用上の注意事項

リモコン操作で解錠する場合、解錠完了ブザー（ピーピー）が鳴りやまないうちに、扉を開けないでください。外から中に入る場合は、シリンダーの動作表示ランプ（緑色）が消えてから扉を開けてください。
動作完了前に扉を開けると、機器が正常に判断できないことがあります。

手動操作で解錠する場合、上下のサムターンつまみを確実にストップするまでまわしてください。内部にある位置センサーが反応しないことがあります。

水分等の浸入により、配線コード部やユニット内部で通電不良が発生し作動不良となる場合がありますので、雨水の浸入や清掃時の雑巾掛け等、扉に直接水がかからないように注意してください。

リモコンキーで施錠された後は、シリンダーの動作表示ランプ（緑色）が1回点灯します。お出かけの際は必ず、シリンダーの動作表示ランプ（緑色）を目視し、正しく施錠された事を確認してください。

- ・リモコンキーを水にぬらさないでください。
水にぬれると故障するおそれがあります。
- ・電池切れ、停電、凍結等で、リモコン操作で解錠できない場合があります。
緊急の場合に備えて鍵を必ず携帯してください。
- ・玄関ドア周辺の電波環境によりリモコンキーの交信範囲が狭くなる場合があります。
- ・心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、念のため医療機器メーカー様にご相談ください。
- ・取り外しや改造・分解はしないでください

4. リモコンキーの登録/抹消方法

はじめに下記の要領でリモコンキーの登録を行ってください。
工場出荷時は、リモコンキーの登録はされていません。

リモコンキーは、最大8個まで登録できます。(リモコンキーは標準で2個付属していますが、それ以上必要な場合は別途有償品をご用意しています。)

リモコンキーの追加手配は、建築会社様・工務店様または販売店へご連絡の程お願いします。
リモコンキーの記号は『WD8056』と伝えてください。

登録および抹消の操作は、「ブザー音」で確認しながら行います。「ブザー音」に同期して室外側シリンダーの「動作表示ランプ(緑色)」も点灯します。2人以上で登録および抹消を行う場合は、もう1人の方が室外側シリンダーの「動作表示ランプ(緑色)」で確認することもできます。

【登録/抹消上の注意事項】

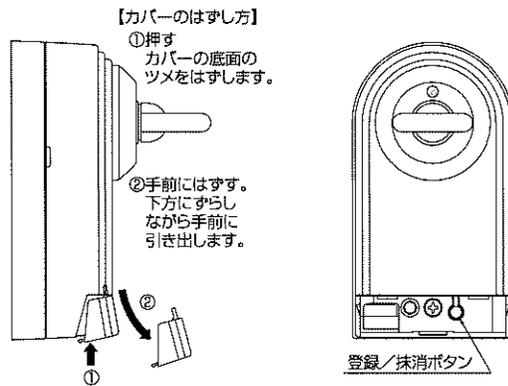
- ・リモコンキーを登録および抹消する場合は、必ず扉を閉めて行ってください。
開いた状態では、登録および抹消はできません。
- ・登録操作中は、登録/抹消ボタンから指を離さないで、押したままにしてください。
指を離すと登録モードが解除されます。
- ・登録/抹消ボタンを押したままの状態、5秒以内にリモコンキーの「open」または「close」ボタンを押してください。5秒以内に操作しないと、「ピー」と2秒間音がして登録失敗になります。
- ・登録時に他のリモコンキーを同時に押さないでください。正しく登録ができません。
複数個登録する場合には、前のリモコンキー操作が終わってから次のリモコンキーを操作してください。
- ・登録作業は登録モードになってから、20秒以内に全ての操作を完了してください。
20秒以内に完了しないと「ピー」と2秒間音がして、以降の登録が無効になります。
- ・登録を失敗すると、以前に登録したリモコンキーが使用できなくなります。
その場合は、もう一度初めから登録作業をやり直してください。

■ 登録方法

登録したいリモコンキーは、全て一度に登録してください。個別に登録することはできません。追加登録する場合は一度登録されているリモコンキーを全て抹消して、使用していたリモコンキーと追加するリモコンキーを合わせて再登録してください。

- ①扉を閉めた状態にします。
- ②電動サムターンメインユニット(下部)のカバーをはずします。

■ 電動防犯サムターンメインユニット



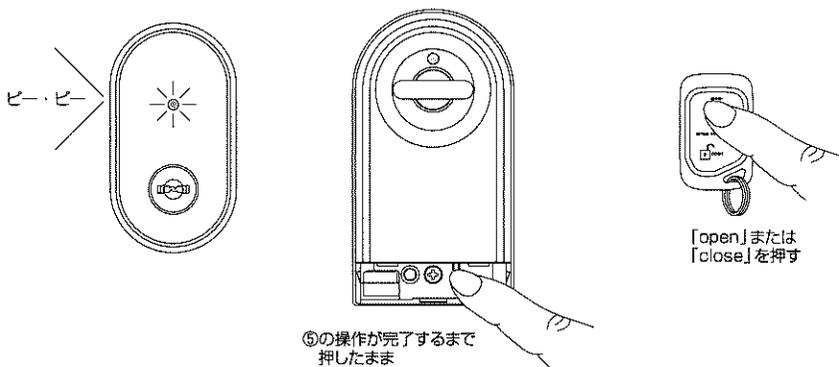
- ③登録/抹消ボタンを押したままの状態、5秒以内にリモコンキーの「open」または「close」ボタンを押します。

「ピー・ピー」と音がしてシリンダーの動作表示ランプ(緑色)が点灯します。登録モードになりました。

※この状態では、リモコンキーはまだ登録されていません。

登録/抹消ボタンは、押したままにしてください。

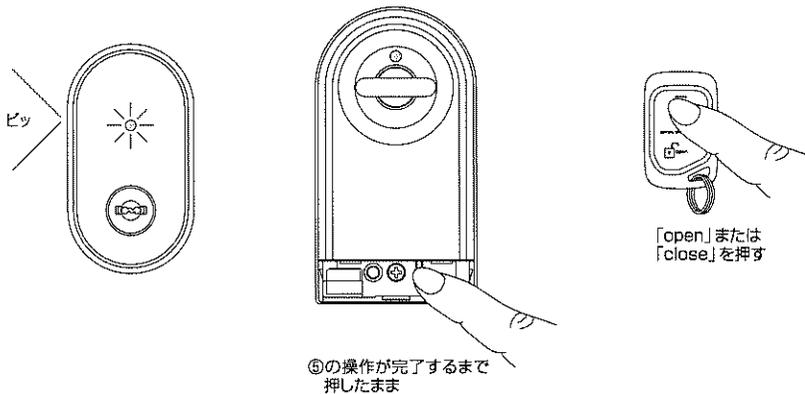
※登録作業は登録モードになってから、20秒以内に全ての操作を完了してください。



④登録/抹消ボタンを押したままの状態、③で使用したリモコンキーの「open」または「close」ボタンを押します。「ピッ」と音がして動作表示ランプ（緑色）が点灯します。1個目のリモコンキーが登録されました。

※登録/抹消ボタンは、押したままにしてください。

※他のリモコンキーを同時に押さないでください。



⑤2個目以降の登録したいリモコンキーも、同じように「open」または「close」ボタンを押します。「ピッ」と音がして、動作表示ランプ（緑色）が点灯します。登録する全てのリモコンキーで、同じ操作を繰り返してください。

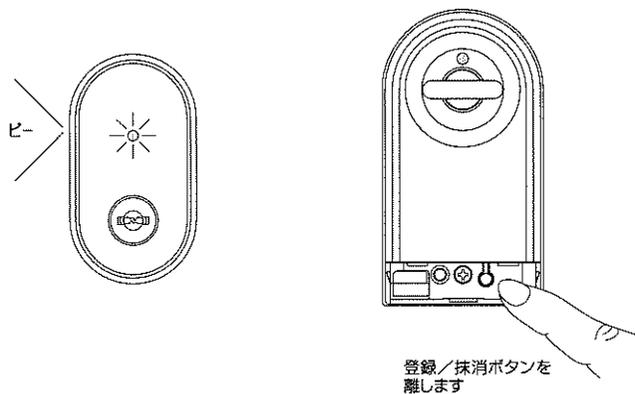
※登録/抹消ボタンは、押したままにしてください。

⑥全てのリモコンキーの登録操作が完了したら、登録/抹消ボタンを離します。

「ピー」と2秒間音がして登録完了です。

※登録したいリモコンキーが全て登録されているか、動作テストを行ってください。

※登録を失敗した場合は、もう一度初めから登録作業をやり直してください。



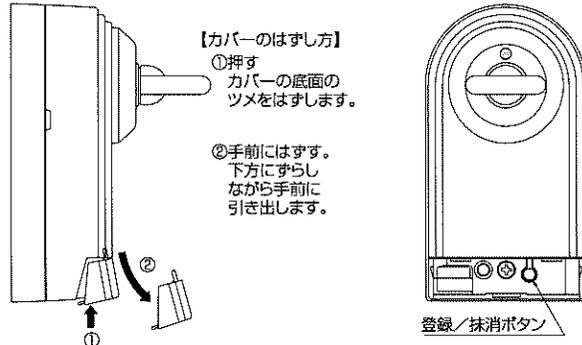
⑦電動サムターンメインユニット（下部）にカバーを取り付けます。

■ 抹消方法

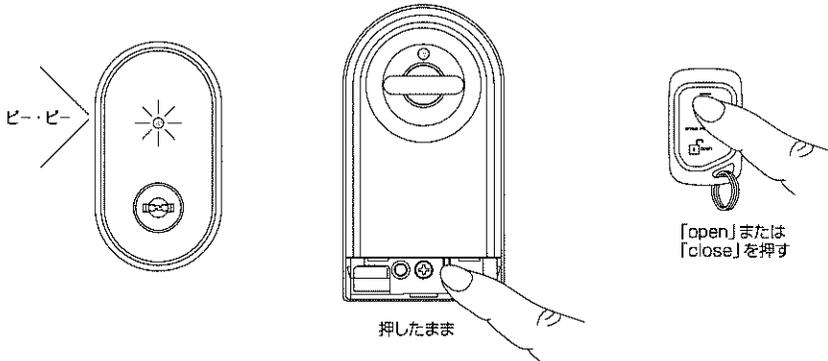
登録しているリモコンキーを個別に抹消することはできません。
紛失等で特定のリモコンキーを1個だけ抹消したい場合でも、一度全ての登録内容を抹消してください。
その後、使用する全てのリモコンキーの再登録を行ってください。

- ①リモコンキーを準備し、扉を閉めた状態にします。
- ②電動サムターンメインユニット(下部)のカバーをはずします。

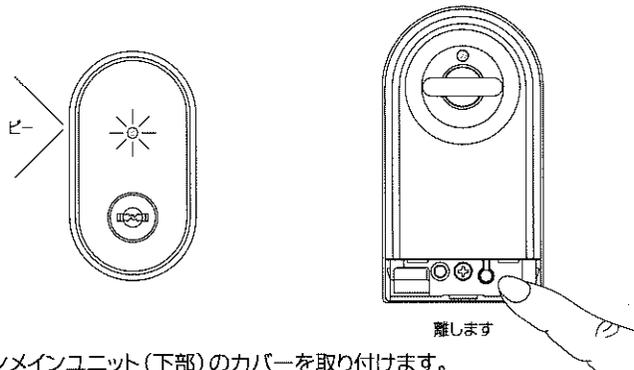
■ 電動防犯サムターンメインユニット



- ③ 登録/抹消ボタンを押したままの状態、リモコンキーの「open」または「close」ボタンを押します。
「ピー・ピー」と音がして動作表示ランプ(緑色)が点灯し全てのリモコンキーの登録が抹消されます。



- ④ 登録/抹消ボタンを離します。「ピー」と2秒間音がして、抹消完了です。



- ⑤ 電動サムターンメインユニット(下部)のカバーを取り付けます。

5. リモコンキーの電池交換方法

リモコンキーの「open」または「close」ボタン操作時に、電池交換警報ランプ(赤色)が点灯する場合は、電池の交換時期です。

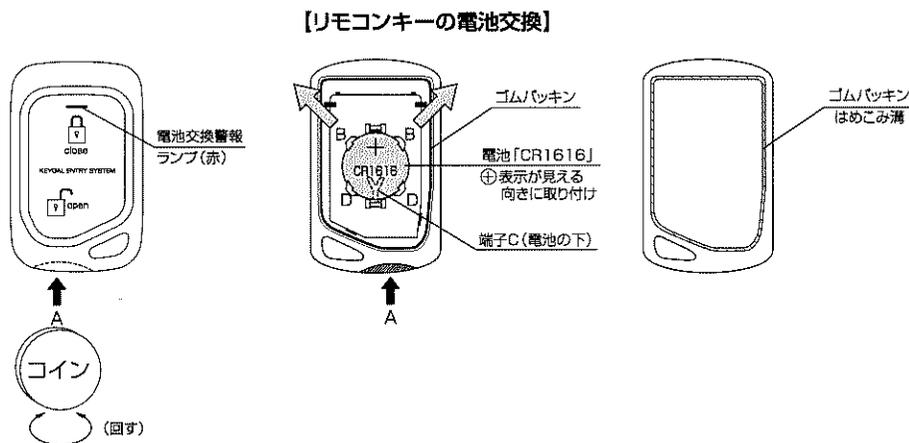
電池寿命は、1日10回の操作で約4年です。定期的な電池交換をお勧めします。

電池交換警報ランプ(赤色)が点灯したら、早めに電池交換してください。

リモコンキー用の電池は、コイン型リチウム電池(CR1616)です。
カメラ店・家電販売店でお買い求めいただけます。

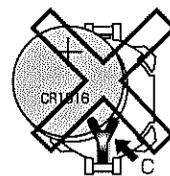
■ 電池交換方法

- ①リモコンキー側面の溝(矢印A)にコインを挿入し、回しながら裏ぶたを開けます。
このとき、ゴムパッキンが外れることがあります。外れた場合には、下図のとおり元の位置(溝)にはめてください。
- ②古い電池を取り出します。2ヶ所の爪(B)を外側に開くようにして、電池を上へ上げて外します。
- ③新しい電池の「+(プラス)」の表示を上にしてケースに入れます。
電池を挿入する場合は、電池ホルダー底面にある端子(C)が電池の下側になるように入れます。
- ④裏ぶたをもとに戻します。



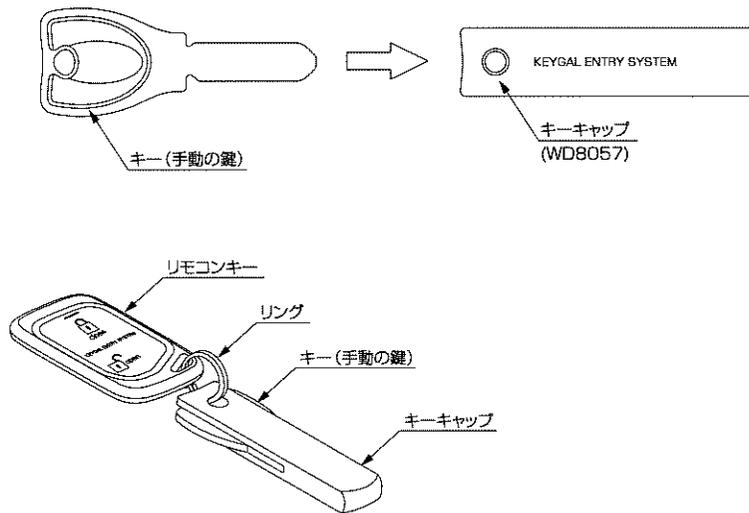
【リモコンキーの電池交換時の注意事項】

- ・電池を取り外すときに無理に引っ張ると、電池を押えている爪(B,D)が破損するおそれがあります。
- ・電池は、逆向きには入れないでください。無理に入れると電池を押えている爪(B,D)および基板や端子が破損するおそれがあります。
- ・電池を端子(C)の下に入れしないでください。無理に挿入すると、破損するおそれがあります。
- ・電池交換後、1回目の操作で電池交換警報ランプ(赤色)が点灯することがありますが、異常ではありません。
- ・お買い上げ時、リモコンキーに内蔵されている電池はモニター用電池です。電池寿命は、所定期間未満です。



6. キーキャップの取付方法

キー(手動の鍵)をキーキャップに挿入して、キーとキーキャップの通し穴を合せリモコンキーの付属リングに通してください。



- ・ 電池切れ、停電、凍結等で、リモコン操作で解錠できない場合は、リングからキー(手動の鍵)とキーキャップを外してから、キー(手動の鍵)を使用して解錠してください。
お子様や年配の方で、リングから取り外しが困難な場合は、キーキャップを取り付けずにご使用ください。

7. 操作方法

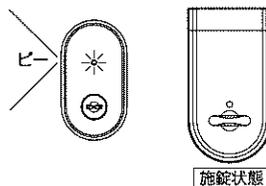
1. リモコンキーの操作方法

リモコンキーを扉に向け、「open」または「close」のボタンを押すことで、上下サムターンが連動して施錠できます。施錠確認は、プザー音およびシリンダーの動作表示ランプ（緑色）で行います。

【施錠する場合】

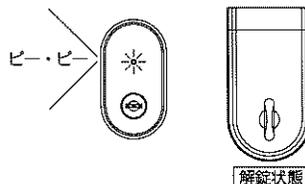
リモコンキーを扉に向け、「close」ボタンを押します。「ピー」と1回音がして、シリンダーの動作表示ランプ（緑色）が1回点灯し、上下サムターンが連動して施錠します。

※リモコン操作は、動作表示ランプ（緑色）が確認できる範囲で行ってください。



【解錠する場合】

リモコンキーを扉に向け、「open」ボタンを押します。「ピー・ピー」と2回音がして、シリンダーの動作表示ランプ（緑色）が2回点灯し、上下サムターンが連動して解錠します。



- ・リモコンキー操作で解錠後、扉を開けないと約20秒後に自動施錠されます。これは、リモコンキーの誤操作防止のため再度施錠する機能（リロック機能P.4）が働いたもので、故障ではありません。解錠後20秒以内に扉を開けるとリロック機能は解除されます。
- ・動作タイミングによっては扉を開ける際、リロック機能（施錠動作）が働く可能性があります。デッドボルト（かんぬき）を出した状態のまま扉を閉じると枠または子扉を傷つけるおそれがありますので、サムターンにて必ず解錠操作を行った上で扉を閉めてください。

■ 動作確認音の「音」と「状態」について

- ・「close」ボタンを押して、施錠した場合

正常に施錠した場合…………… 「ピー」と1回鳴ります。

正常に施錠しなかった場合（異常時）…………… 「ピーピー…ピ」と10回鳴ります。

※扉の建て付け状態を確認してください。必要であれば、ストライク調整を行ってください。（別冊の取り扱い説明書を参照してください。）

すでに施錠している場合…………… 「ピーピーピー」と4回鳴ります。

（施錠中に「close」ボタンを押した場合）

- ・「open」ボタンを押して、解錠した場合

正常に解錠した場合…………… 「ピー・ピー」と2回鳴ります。

正常に解錠しなかった場合（異常時）…………… 「ピーピーピー」と4回鳴ります。

すでに解錠している場合…………… 「ピーピーピー」と4回鳴ります。

（解錠中に「open」ボタンを押した場合）

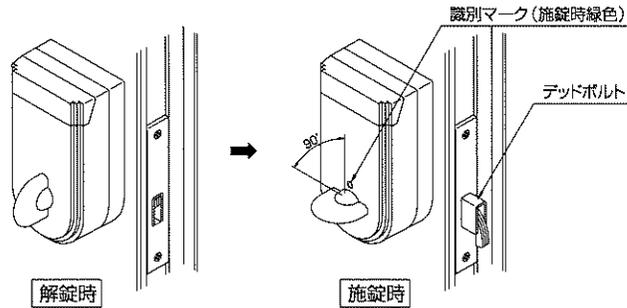
■ 操作範囲について

作動距離は周囲の建物等の状況（違法電波・磁気）や操作する人によって変化します。特に金属製品を扉の受信部に近づけると、作動距離が短くなるおそれがあります。

2. キー（手動の鍵）またはサムターンでの操作方法

キー（手動の鍵）またはサムターンを90°まわすと施錠できます。

施錠確認はリモコンキー操作時と同様に、ブザー音およびシリンダーの動作表示ランプ（緑色）で行います。サムターン操作の場合には、施錠時に見える識別マーク（緑色）でも確認できます。



【上部の錠から施錠する場合】

上部の錠をキーまたはサムターンで施錠すると、運動して下部の錠が自動的に施錠します。

【下部の錠から施錠する場合】

下部の錠をキーまたはサムターンで施錠すると、下部の錠だけ施錠します。上部の錠は、運動して施錠しません。

外出・就寝時など施錠する際には、防犯のため必ず上下両方の錠をかけてください。

【解錠する場合】

キーまたはサムターンで解錠する場合、上下の錠は連動して解錠しませんので、上下とも個々に解錠してください。

3. 防犯サムターンの操作方法

ガラスを割ってサムターン操作し侵入する「ガラス破り」を防ぐため、下側サムターンつまみが脱着できます。通常サムターンと同じように90°まわすと施錠できます。施錠確認は、ブザー音および施錠時に見える識別マーク（緑色）で行います。施錠時または解錠時、どちらの場合でもつまみの脱着はできます。

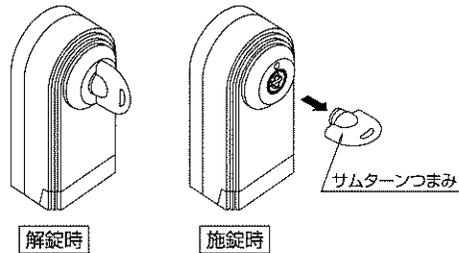
【つまみのはずし方】

サムターンのつまみを手前に抜いてください。

【つまみの取り付け方】

施錠時にはつまみを横に、解錠時にはつまみを縦にして、取り付けてください。

取り付け後は、施錠が正しく行えるかを確認してください。



防犯サムターンのつまみをはずしてご使用の際は、つまみを常にドアの近くに置いてください。停電伴う緊急時に、はずしたつまみがないと錠の操作ができず、外に出られなくなるおそれがあります。また、防犯サムターンのつまみは2個標準装備しております。予備のつまみはドア付近の決められた場所に保管し、緊急時ご家族の皆様がいつでもご使用できるようにしておいてください。

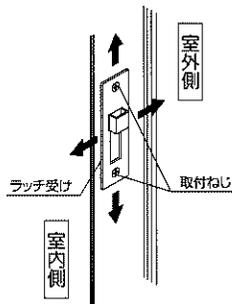
8. マグネット・ラッチ受けの調整

■ ラッチ受けの調整

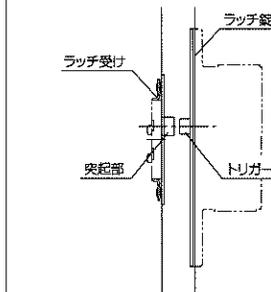
扉のラッチ錠がかかりにくい場合は、枠のラッチ受けの取付ねじをゆるめ、ラッチ受けの突起部とラッチ錠のトリガーが同じ位置になるように調整してください。

調整後、取付ねじを締め直してください。

※取付ねじは、2～3回転ゆるめる程度で調整は可能です。取付ねじをゆるめすぎるとねじがはずれ、紛失のおそれがあります。



※ラッチ受けの突起部と、ラッチ錠の突起部のセンターが合うように調整してください。



9. お手入れについて

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

- 汚れは、柔らかな布、スポンジなどで水洗いにより、洗い落としてください。金属たわしなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもととなりますので、使用しないでください。
- 水洗いで取れない汚れは、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて柔らかな布などを使って洗い落としてください。洗剤使用後は十分に水洗いを行ない、乾いた布で水分を拭き取ってください。



- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。



- ホース等で、電装部品に直接水をかけないでください。電装部品の故障の原因となります。

10. 不具合対応について

■ 保守点検について

ご使用中に次のような現象・兆候が発生することがあります。そのまましておきますと、人身事故などの原因になるおそれがあります。次のような不具合がないかどうか、お手入れの時などを利用して点検して処置してください。

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全く作動しない。	停電等によりシステムに電源が供給されていない。	落ちているブレーカーがないか確認してください。他の電気製品等が動いているか確認してください。
リモコンキーの「open」／「close」ボタン、どれを押しても作動しない。	リモコンキーが送信距離範囲内でない。	リモコンキーの送信距離範囲を確認してください。(P.16)
	リモコンキーの電池が消耗している。	電池を交換してください。(P.9)
	リモコンキーが登録されていない。	リモコンキーを登録してください。(P.5~7)
	扉のリードスイッチが枠または子扉のマグネットを感知していない。(開き戸)	マグネットの調整を行ってください。(P.13)
	扉が確実に閉まっていない。 ラッチ錠がかかっていないと作動しません。(引き戸のみ)	扉を閉めて、ラッチ錠が確実にかかっていることを確認してください。 ラッチ錠がかかりにくい場合は枠のラッチ受けの調整を行ってください。(P.13)
リモコンキーの「close」ボタンを押しても施錠しない。(「カタカタ」音を発する)モーター作動音がし、数秒後「ビビビ……ビ」と10回ブザー音が鳴る。	錠がストライクに確実におさまっていない。	ストライク調整を行ってください。(別冊の取り扱い説明書を参照ください。)
リモコンキーの作動距離が極端に短くなり、電池交換警報ランプが赤色に点灯する。	リモコンキーの電池が消耗している。	電池を交換してください。(P.9)
リモコンキーまたは手動で解錠した後扉を開けないと約20秒後に自動的に再施錠する。	—	リロック機能(P.4)と呼ばれるもので正常です。解錠後約20秒以内に扉を開けば、リロック機能は解除され作動しません。

以上の処置をしても直らなかつたり原因が見当たらない場合は、ご自分で分解や修理をなさらず、必ず建築会社様・工務店様または販売店に修理を依頼してください。

11. 商品仕様

■ 電動サムターン

電圧	DC12V
動作電流	500mA以下
暗電流	7mA以下
リモコンキー登録数	最大8個
受信距離	3m以上

■ リモコンキー

電圧	3V (ボタン型リチウム電池「CR1616」)
電池寿命	10回/日にて4年以上
暗電流	1 μ A以下
電波方式	AM変調方式
防水性	日常生活防水
送信距離	約3m

■ LED付シリンダー

電圧	DC9V
LED色	緑色

■ ACアダプター

入力電圧	AC100V、50Hz/60Hz
出力電圧	DC12V
出力電流	850mA

■ 消費電力

動作時	約8W
待機時	約4W

878R0830